

之が実現への具体化はいま全国的に澎湃として漲っている。具体化させて見たいと思っていることを羅列して見ると：

1. 街路樹は今までの考え方から脱却して、街路林の中に街路があるという形にする。
2. 街路林の構成樹種は勿論当地域の自然の木を活用する。
3. 河川の流域には昔のように竹・ヨシ・マコモ・ガマ・やなぎ等を堤防とし生かす場があっても決して悪くはないと思う。
4. 河川敷ではなく河原にはカワラヨモギ・カワラナデシコ・カワラジッコ（オキナグサ）・カワラグミ・ツ

ルヨシ・ネコヤナギその他上流から流れてきて生える植生も再現したい。

5. 水田のかんがい期に入ると水が浸透して湿地が出来、そこにセキショウ・ホシクサ・イヌノヒゲ・イ・ウシクグ等が生える。このような場があることも望ましい。
6. 岩壁や道路の側壁にはもっとイワガラミ・クロヅル・テリハノイバラ・ツルアジサイ・イワヒバ・シモツケ・等を利用する。

実験の結果極めて効果大である。例を挙げると限りが無い。が工場緑化林や農場林は既に茨城県稲敷郡三浦村のサガノ農機工場と東村の新利根平順開拓協同農場の一画。上野満氏のところに実施中である。

散文詩 2 篇

和 泉 克 雄

あまも *Zostera marina* L.

冬は海岸で海産顕花植物のあまもの話をたのしく聞いたあじも りゅうぐうのおとひめのもとゆいのきりはずしもおぐさ <海の紐 海の帯 海のベルト>とも言うこの水草の葉基部 根茎には濃厚な甘味があり煮出すと砂糖の代用になり乾燥すると菓子代りになり蒸溜すると焼酎になりその種子には米におとらぬ栄養価があるのでやがては<海産米>としても広く栽培されるであろうが現在では海浜農家の堆肥の<つめもの>か冬飛来しては各地の海岸湖沼で越冬する白鳥らの好物として知られるぐらいのものだがそうなるにあらゆる生物から奪うのみであった人間も白鳥のように優美になるかも知れないとりゅうぐうのおとひめのもとゆいのきりはずしそっくりのひげをなでながら仙人の予言者的風貌の博士は言ったそうなるかと白鳥がからすのような憎まれものになるのではないのかと言うと否否きみの見方はいつも悲観的だよそこは人間も白鳥のように自由に飛べるようになり生態も現在よりはるかにのびのびしたものになっているなぜなら今の百分の一にも減れば人間の存在そのものが貴重になっているだろうがそのころの吾輩は<甘藷米><甘藷酒>も味わうことなく天路巡礼の旅の途上だろうと白鳥そっくりの声で愛する博士はかなしそうに言った

水の妖精 *Ceratopteris thalictroides* (L.) Brongniat

冬は室内プールの水の妖精らをみるのをたのしみにした水中で輪になって花になったり音楽をかたどったりする若い妖精らの自由で自在の姿態のうごきは女の美しさのきわみであり人だけに許された神を讃える輪舞にみえた神を讃える無数の胞子が水中から空中に散ったそのとき淡い緑色にゆれる水面に愛する水草しだ科のみずわらびウォーターズプライト<水の妖精>がたちまちに繁茂したその水草を栽培し養われた日が透明な地下湖の底に映り猿猴もどきに手をのばし捉えんとする今が水面に映った薬草でも野菜でもないにんじんの葉のような水草一本が水中の観葉植物の一種としてもてはやされほうれんそう一束とほとんど同じの値でとぶように売れた時があったウォーターズプライトつくりの達人と言われた時があったおかしくもおもしろく短く狂熱的に愛された時があった 環境によってさまざまに変化するこの水草が水先案内と美しく生きるがための在り方を教えてくれた時があったその栽培技術をおぼろげながらも会得しただけで妖精を美しく繁茂させる方法をねんごろに乞われた時があった冬が最高に美しかったのは光も水温も調節できたからだ冬の室内プールの水の妖精たちがこんなにも美しいのは若くすこやかなもっとも飲びの今という水にいるからだ